

## 5. 在宅医療

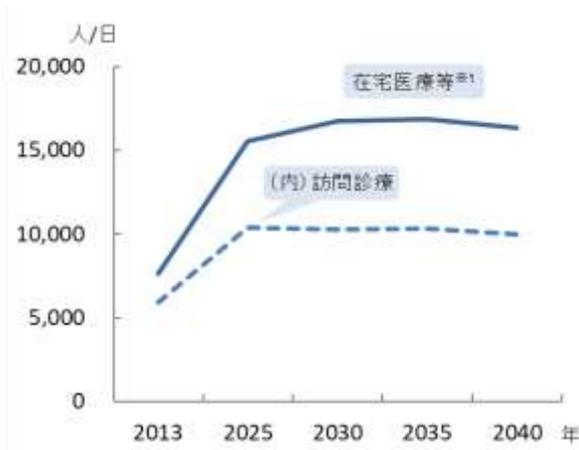
### （主な現状と課題）

- ◆在宅療養支援病院及び在宅療養後方支援病院は一定確保されていますが、圏域内での地域による偏在があり、緊急時や重症患者の受入が困難な場合があるため、複数機関が連携した受入体制を構築する必要があります。
- ◆日常の療養生活や病状悪化時の往診等を支援するため、積極的医療機関の活用を含め、連携の拠点を中心に身近な医療体制を整備する必要があります。
- ◆地区医師会、市町による連携会議や研修会等の開催を通じて、職種間の連携強化を図っており、なお一層、この連携が有効に機能するよう職種間の役割理解を深める必要があります。

### （1）在宅医療等の需要の見込み

○在宅医療等の需要は、2030年頃をピークに今後増加することが予想されています。

図表● 在宅医療等の需要の見込み



※1：2013年度の需要は、訪問診療分と2013年度の介護老人保健施設の月当たりの施設サービス利用者数（大阪府高齢者計画2012の検証より）の総計を参考値として掲載しています。

（第7次大阪府医療計画と同一の内容を記載しています。（第4章「地域医療構想」参照））

## （2）在宅医療に必要な連携を担う拠点

○泉州二次医療圏における連携の拠点は表●のとおりです。（令和6年4月1日予定）

図表● 連携の拠点

	対象地域	名称	所在地
1	和泉市 泉大津市 忠岡町 高石市	調整中	調整中
2	岸和田市 貝塚市	岸和田徳洲会病院	岸和田市

	対象地域	名称	所在地
3	泉佐野市 泉南市 阪南市 熊取町 田尻町 岬町	泉佐野泉南医師会※	泉佐野市
	泉佐野市	泉佐野市※	泉佐野市
	泉南市	泉南市※	泉南市
	阪南市	阪南市※	阪南市
	熊取町	熊取町※	熊取町
	田尻町	田尻町※	田尻町
	岬町	岬町※	岬町

※共同体として連携の拠点となる。

### （3）在宅医療提供体制

○「主な在宅医療資源の状況」は図表●のとおりです。

○泉州二次医療圏の積極的医療機関は、●●医療機関（令和6年4月1日予定）となっており、大阪府ホームページで一覧を掲載しています。

図表● 主な在宅医療資源の状況

	訪問診療を 実施している診療所	(人口10万人対)	在宅療養支援診療所	(人口10万人対)	再掲)機能強化型	(人口10万人対)	在宅療養支援病院	(人口10万人対)	再掲)機能強化型	(人口10万人対)	在宅療養後方支援病院	(人口10万人対)	積極的医療機関	(人口10万人対)
岸和田市	43	23.0	35	18.7	13	6.9	4	2.14	3	1.60	1	0.53	4	2.14
泉大津市	18	24.5	12	16.4	3	4.1	1	1.36	0	0	0	0	0	0
貝塚市	10	12.1	8	9.7	2	2.4	2	2.43	0	0	1	1.21	4	4.85
泉佐野市	23	23.3	15	15.2	10	10.1	2	2.02	0	0	1	1.01	0	0
和泉市	34	18.6	26	14.2	4	2.2	4	2.18	1	0.55	2	1.09	3	1.64
高石市	10	18.1	9	16.3	4	7.3	3	5.44	2	3.63	0	0	0	0
泉南市	7	11.9	3	5.1	0	0	3	5.11	1	1.70	0	0	2	3.41
阪南市	10	20.1	5	10.1	0	0	1	2.01	1	2.01	0	0	1	2.01
忠岡町	7	42.9	4	24.5	2	12.2	0	0	0	0	0	0	0	0
熊取町	5	11.5	5	11.5	3	6.9	0	0	0	0	0	0	0	0
田尻町	3	36.6	2	24.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
岬町	5	35.0	3	21.0	0	0	0	0	0	0	1	7.00	0	0
<b>泉州</b>	<b>175</b>	<b>20.1</b>	<b>127</b>	<b>14.6</b>	<b>41</b>	<b>4.7</b>	<b>20</b>	<b>2.30</b>	<b>8</b>	<b>0.92</b>	<b>6</b>	<b>0.69</b>	<b>14</b>	<b>1.61</b>
大阪府	2,068	23.5	1,752	19.9	456	5.2	133	1.51	63	0.72	53	0.60		

	入退院支援加算届出施設数	(人口10万人対)	訪問診療を実施している歯科診療所(居宅)	(人口10万人対)	訪問診療を実施している歯科診療所(病院等)	(人口10万人対)	訪問診療を実施している歯科診療所(施設)	(人口10万人対)	在宅療養支援歯科診療所	(人口10万人対)	在宅患者調剤加算の届出薬局	(人口10万人対)	訪問看護ステーション	(人口10万人対)	再掲)機能強化型	(人口10万人対)
岸和田市	7	3.7	17	9.1	6	3.2	20	10.7	13	6.9	48	25.6	47	25.1	2	1.07
泉大津市	3	4.1	7	9.5	4	5.5	4	5.5	6	8.2	20	27.3	11	15.0	0	0
貝塚市	2	2.4	11	13.4	4	4.9	5	6.1	7	8.5	11	13.4	18	21.8	0	0
泉佐野市	6	6.1	14	14.2	3	3.0	9	9.1	15	15.2	23	23.3	31	31.3	3	3.03
和泉市	5	2.7	19	10.4	5	2.7	13	7.1	16	8.7	28	15.3	44	24.0	0	0
高石市	2	3.6	8	14.5	2	3.6	9	16.3	8	14.5	13	23.6	9	16.3	0	0
泉南市	2	3.4	8	13.6	4	6.8	5	8.5	5	8.5	4	6.8	10	17.0	1	1.70
阪南市	2	4.0	6	12.1	2	4.0	4	8.1	4	8.1	11	22.1	9	18.1	2	4.03
忠岡町	2	12.2	2	12.2	1	6.1	2	12.2	3	18.4	4	24.5	4	24.5	0	0
熊取町	1	2.3	4	9.2	0	0	4	9.2	2	4.6	12	27.7	10	23.1	1	2.31
田尻町	0	0	1	12.2	2	24.4	2	24.4	1	12.2	1	12.2	1	12.2	0	0
岬町	1	7.0	1	7.0	1	7.0	1	7.0	1	7.0	1	7.0	4	28.0	0	0
<b>泉州</b>	<b>33</b>	<b>3.7</b>	<b>98</b>	<b>11.3</b>	<b>34</b>	<b>3.9</b>	<b>78</b>	<b>9.0</b>	<b>81</b>	<b>9.3</b>	<b>176</b>	<b>20.2</b>	<b>198</b>	<b>22.7</b>	<b>9</b>	<b>1.03</b>
大阪府	280	3.2	1,070	12.2	250	2.8	773	8.8	882	10.0	2,289	26.1	1,916	21.8	73	0.83

※「訪問診療を実施している診療所」及び「訪問診療を実施している歯科診療所」は令和2年現在、その他については令和5年4月現在の状況  
 ※「人口10万人対」算出に用いた人口は、大阪府総務部「大阪府の推計人口（令和4年10月1日現在）」

#### (4) 多職種間連携

##### 【岸和田市】

○「市民が、住み慣れた地域や望む場所で、不安なく、人生の最期まで暮らし続けられる地域」をめざし、多職種協働で取組む「在宅医療介護連携拠点会議」に設置しているワーキンググループにて、PDCAに沿って地域における在宅医療の課題抽出とその解決に努めています。

##### 【泉大津市】

○「在宅医療推進協議会」において、地域医療と介護の連携について協議を行っています。また、医療と介護のネットワーク「イカロスネット」では、多職種が日常的に連携し、市民啓発等も含めた事業を継続して実施しています。

**【貝塚市】**

- 「在宅医療・介護連携推進懇話会（つげさん在宅ネット）」及び「多職種連携研修会」の開催により、顔の見える関係を構築しており、引き続き、多職種協働により、医療・介護を包括的・継続的に提供できる体制構築に努めています。

**【泉佐野市】**

- 「自分らしく生きることが実現できる泉佐野」をめざして、医療介護連携推進事業を実施しています。在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討のため、医療・介護連携推進会議や多職種連携研修会、地域住民への普及啓発等を行っています。

**【和泉市】**

- 「和泉市市民を中心とした医療と介護の連携推進条例」のもと「和泉市医療と介護の連携推進審議会」を設置しています。平成29年度より在宅医療・介護連携コーディネーターを配置し、市民ニーズに即した体制強化・連携強化に向け、取り組んでいます。

**【高石市】**

- 地域包括支援センターが中心となり、入退院時多職種連携検討会議や多機関協働地域包括ケア会議等を行い、課題や対応策の検討を行っています。また、さらなる連携強化に向け、医師会・地域包括支援センター等が参加する「多職種連携会議」を開催しています。

**【泉南市】**

- 多職種連携会議「WAO ネット会議」では、在宅医療・介護連携及び認知症に関する内容について、検討を行っています。また、多職種協働により、医療・介護に関する住民啓発講座「WAO地域」を実施しています。

**【阪南市】**

- 多職種連携会議「はなていネット」では、在宅医療・介護連携について引き続き、検討を行い、多職種向け研修会を開催しています。各専門職種別に部会を設置し、多職種が学び合い、ネットワークを構築しています。

**【忠岡町】**

○「在宅医療推進協議会」において、地域医療と介護の連携について協議を行っています。また、医療と介護のネットワーク「イカロスネット」では、多職種が日常的に連携し、市民啓発等も含めた事業を継続して実施しています。

**【熊取町】**

○平成24年度から医療介護ネットワーク連絡会「ひまわりネット」を立ち上げ、在宅医療・介護連携を推進する体制を構築するため「医療介護ネットワーク検討委員会」を設置しています。ひまわりネットの企画運営等について検討を行い、定期的な連絡会や研修会、住民向け講演会を開催し、引き続き、多職種間連携の強化に努めています。

**【田尻町】**

○田尻町在宅医療・介護連携推進会議「たじりっちネット」を設置し、多職種連携研修会の実施や、医療と介護の連携について検討しています。在宅医療の啓発として住民向け講演会を開催しています。

**【岬町】**

○平成27年度に多職種連携会議を立ち上げ、会議や研修会を通じて在宅医療・介護連携の顔の見える関係づくりを行っています。在宅医療・介護連携の住民向け講演会を開催し啓発に努めています。

## 第2項 泉州二次医療圏における今後の取組（方向性）

### （2）在宅医療の充実

- ・安定した在宅医療を提供するため、訪問診療体制や訪問看護等の拡充を図るとともに、引き続き、緊急時や重症患者の受入れ等の後方支援の体制づくりを推進します。
- ・在宅医療を円滑に提供するため、連携の拠点及び積極的医療機関を設定し、身近なかかりつけ医と連携した医療体制を整備します。
- ・医療・介護関係者による会議や研修を通じて、職種間の役割理解を深め、引き続き、多職種間連携を促進するとともに、各市町や関係機関による人生会議（ACP）等のさらなる普及啓発に取り組めます。

